

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 スチール・フォージ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.470	Δ RG 0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：スチール・フォージ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：サブゼロ・フォージ

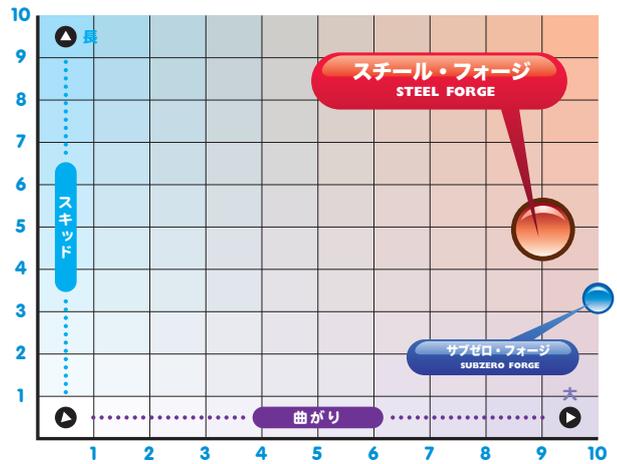
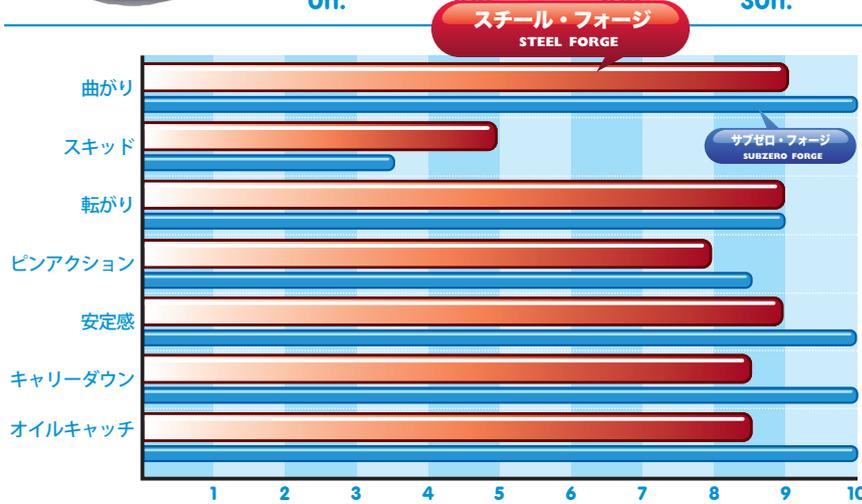
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

FORGEシリーズの最新作「STEEL FORGE」が、満を持して登場。前作SUBZERO FORGEが備えていた、オイルに対する絶対的なキャッチと力強いアーク状の動きに対し、今作STEEL FORGEでは“キレ”というイメージを前面に出した印象です。最大のポイントは、EVOKE HYSTERIAで話題を呼んだPropulsion MXV Pearl Reactiveカバーストックを今回はシンメトリックコアに搭載した点にあります。EVOKE HYSTERIAでは、非対称コアとの組み合わせで爆発的なフリップモーションを生んでいましたが、STEEL FORGEではDetonatorコアとの融合によって、より扱いやすく、しかし決してパワーを失わない“直線から角へ”の流れを見事に表現しています。また、Detonatorコアは、低RG(2.47)と高 Δ RG(0.055)によって、早めの回転と立ち上がりやすさを実現し、非常に強いミッドレーンキャッチと、遅れない方向転換を同時に体現しています。SUBZERO FORGEで用いられたLeverageカバラーよりもアグレッシブな進入角が特徴のSTEEL FORGEは、オイルの厚いゾーンを無駄なく使い切り、ピン手前で一気に角度を取るというまったく新しい武器となっています。表面仕上げも工夫されており、採用された5000グリットLSS仕上げは、レーン手前での安定感を高めつつ、バックエンドでの急激な反応性を損なうことなく保たれます。この“クリーンかつ角度の出るモーション”こそがSTEEL FORGE最大の特長であり、特にスピードのあるプレイヤーにとっては、レーンの先で「動き過ぎない安心感」と「刺すような攻撃性」を両立させる頼れる相棒となるでしょう。また、SUBZERO FORGEよりもSTEEL FORGEはダウンレーンの動きが一段階シャープになっており、「前作は少しアークが大きすぎた」と感じていたユーザーには、この新作のキレの良さがマッチするはず。EVOKE HYSTERIAとの比較では、非対称ならではの“暴れる感じ”がマイルドに抑えられ、よりラインに忠実に、しかしキレを失わないという点で、高い完成度を誇ります。

特記事項

ミディアム～ミディアムヘビーのコンディションにおいて、最初から最後まで攻めの姿勢を買きたいとき、「止まらずに突き進む」ための鋼鉄の矛先が、このSTEEL FORGEなのです。